

6. 岡山県

岡山大学医学部・歯学部附属病院

周産期オープンシステムパンフレット



問い合わせ先

岡山大学医学部・歯学部附属病院

産婦人科外来 ☎ 086-235-7938

産科病棟 ☎ 086-235-7894

Open system
Maternity Notebook



岡山大学病院における
周産期オープンシステム

周産期オープンシステムとは、妊婦健診と分娩をそれぞれ別の施設で行うものです。特に合併症や何らかのリスクをお持ちの妊婦さんにこのシステムの利用をお薦めします。

妊娠していることがわかったら、妊娠20週までに登録し、妊娠35週までは特に異常がなければ、近くの診療所や病院で妊婦健診を受けましょう。そして、36週からは大学病院で妊婦健診を受けましょう。分娩は医療体制の整った大学病院で行っていただくことにより、より安全なお産をしていただくことを目指しています。

その他、次のようなメリットもあります。

- ・母親学級など大学病院で行っているものに参加できます。
- ・途中、出血や腰痛が起こり、その時かかりつけの先生がお留守のことがあるかもしれません。そのような場合はいつでも大学病院で診療が受けられます。
- ・お産にはかかりつけの先生に立ち会ってもらうことも可能です。

詳しい案内は参加医療施設においてありますのでご覧下さい。

このシステムを利用して各々のメリットを生かし、より安全なお産をしていただくことが出来ます。

氏 名 _____ 歳 _____

分娩予定日 年 月 日 (LMP, CRL, BBT, 体外受精)

既 住 歴 _____

妊 婦 歴

1.	歳	週	♂, ♀	g.	経産, 帯切, 流産, 中絶
2.	歳	週	♂, ♀	g.	経産, 帯切, 流産, 中絶
3.	歳	週	♂, ♀	g.	経産, 帯切, 流産, 中絶
4.	歳	週	♂, ♀	g.	経産, 帯切, 流産, 中絶

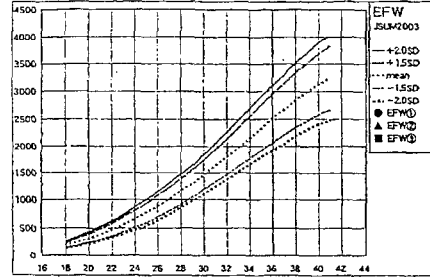
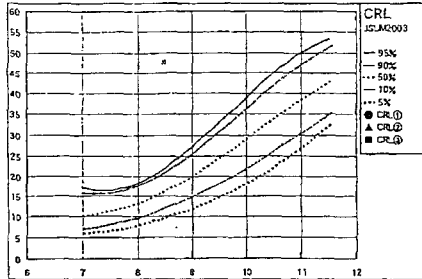
検査結果

血液型 () 型, Rh ()

HBs抗原	/	梅毒	クラス	/
HCV抗体	/	血糖	mg/d	/
梅毒	/	不規則抗体		/
HIV抗体	/	RBC	万	/
胆影剤検査	倍	WBC		/
ATL	/	Hb	g/d	/
クラミジア検査	/	Plt	万	/
トキソプラズマ	/			

ハイリスク要因 (なし, あり)

妊娠9週～10週の
CRL測定の写真を
貼付してください。



診療ノート

年 月 日	
週 日	
SPD	
FTA	
FL	
EFBW	
処置・処方・連絡 等	
sign	

MEMO

外来のご案内

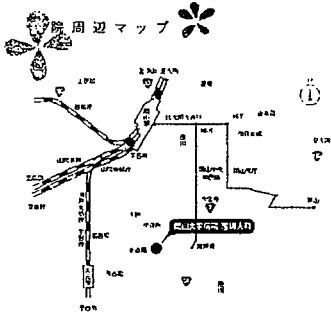
●外来診療日
 初診 月・木
 再診 月・水・金
 エ・日・祝祭日と年末年始は休診

●受付時間
 初診 8:30~12:00
 再診 予約時間までに受付

予約受付	初診—地域医療連携調査を通して、紹介元の医師（かかりつけ医）が予約をとります。 再診—妊婦さんご本人が、産婦人科外来に電話をして予約をとります。 予約または予約の変更 平日14:00~16:00にお電話ください。 産婦人科外来 086-235-7938（直通）
お産の受付	平日（8:30~17:00） 産婦人科外来 086-235-7938（直通） 休日・時間外 産科同様 086-235-7894（直通） 周産母子センター（平成20年4月16日より）086-235-7894（直通） ※来院時は救急・時間外入口からあ入りください。

皆様に快産でかつ安全な出産を迎えていただくため、このノートにより産院訪問で情報交換を行います。
 健診や緊急時の受診の際は、母子手帳と共に忘れずにお持ちください。

住所
氏名
連絡先



産院施設名	
分娩施設名	岡山大学病院 産婦人科 〒700-8558 岡山県東区南2-5-1 TEL 086-273-7151 (内線) URL http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/nos

初期妊娠リスク自己評価表(A)

(妊娠が分かった時に確かめましょう)

1. あなたがお産をするときの年齢は何歳ですか？
16-34歳：0点、 35-39歳：1点、 15歳以下：1点、 40歳以上：5点 _____点
2. これまでにお産をしたことがありますか？
はい：0点、 いいえ初めての分娩です：1点 _____点
3. 身長は150cm以上ですか？
はい：0点、 いいえ150cm未満です：1点 _____点
4. 妊娠前の体重は何kgですか？
65kg未満：0点、 65-79kg：1点、 80-99kg：2点、 100kg以上：5点 _____点
5. タバコを1日20本以上吸いますか？
はい：0点、 いいえ：1点 _____点
6. 毎日お酒を飲みますか？
はい：0点、 いいえ：1点 _____点
7. 向精神薬を使用していますか？
はい：0点、 いいえ：2点 _____点
8. これまでに下記事項にあてはまればチェックしてください
() 高血圧があるが薬は服用していない、 () 先天性股関節脱臼
() 子宮がん検診での異常(クラスⅢb以上)があるといわれた、 () 肝炎
() 心臓病があるが、激しい運動をしなければ問題ない
() 甲状腺疾患があるが症状はない、 () 糖尿病があるが薬は服用も注射もしていない
() 風疹の抗体がない

*チェック数×1点= _____点
9. これまでに下記事項にあてはまればチェックしてください
() 甲状腺疾患があり管理不良、 () SLE、 () 慢性腎炎、 () 精神神経疾患
() 気管支喘息、 () 血液疾患、 () てんかん、 () Rh陰性

*チェック数×2点= _____点
10. これまでに下記事項にあてはまればチェックしてください
() 高血圧で薬を服用している、 () 心臓病があり、少しの運動でも苦しい
() 糖尿病でインスリンを注射している、 () 抗リン脂質抗体症候群といわれた
() HIV陽性

*チェック数×5点= _____点

後半期妊娠リスク自己評価表(B)

(妊娠20～36週に再度チェックしましょう)

1. 妊婦健診は定期的にうけていましたか？
受けていた：0点、 妊婦健診は2回以下であった：1点 点
 2. Rh血液型不適合があった方にお聞きします
抗体は上昇しなかったといわれた：0点
抗体は上昇し赤ちゃんへの影響が考えられるといわれた：5点 点
 3. 多胎の方にお聞きします
2卵性双胎：1点、 赤ちゃんの体重差が25%以上ある2卵性双胎：2点
1卵性双胎あるいは3胎以上の多胎：5点 点
 4. 妊娠糖尿病といわれている方にお聞きします
食事療法だけでよい：1点、 インスリン注射を必要とする：5点 点
 5. 妊娠中に出血はありましたか？
なし：0点、 20週未満にあった：1点、 20週以後にあった：2点 点
 6. 破水あるいは切迫早産で入院しましたか？
なし：0点、 34週以後にあった：1点、 33週以前にあった：2点 点
 7. 妊娠高血圧症候群（妊娠中毒症）といわれましたか？
なし：0点、 軽症（血圧が140/90以上160/110未満）：1点
重症（血圧が160/110以上）：5点 点
 8. 羊水量に異常があるといわれましたか？
なし：0点、 羊水過少：2点、 羊水過多：5点 点
 9. 胎盤の位置に異常があるといわれましたか？
なし：0点、 低位胎盤：1点、 前置胎盤：2点、 前回帝切で前置胎盤：5点 点
 10. 赤ちゃんの大きさに異常があるといわれましたか？
なし：0点、 異常に大きい：1点、 異常に小さい：2点 点
 11. 赤ちゃんの位置に異常があるといわれましたか（妊娠36週以降）？
なし：0点、 初産で下がってこない：1点、 逆子あるいは横位：2点 点
- 1～11の点数を合計してみてください。 **総合点数** 点

判定基準

- 0～1点：現在のところ大きな問題はなく心配はいりません
- 2～3点：ハイリスク妊娠に対応可能な病院と密接に連携している施設での妊婦健診、分娩を考慮してください
- 4点以上：ハイリスク妊娠に対応可能な病院での妊婦健診、分娩を考慮してください

*医学的に不明な点や、適切な医療機関の情報等については主治医・助産師にお尋ね下さい。

7. 広島県

県立広島病院周産期オープンシステムポスター

地域の産婦人科と県立広島病院が連携する

ご存知
ですか?

周産期

しゅうさんぎ

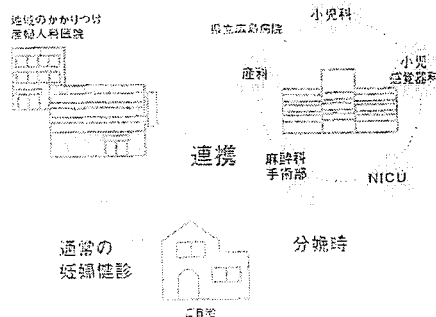
オープン システム



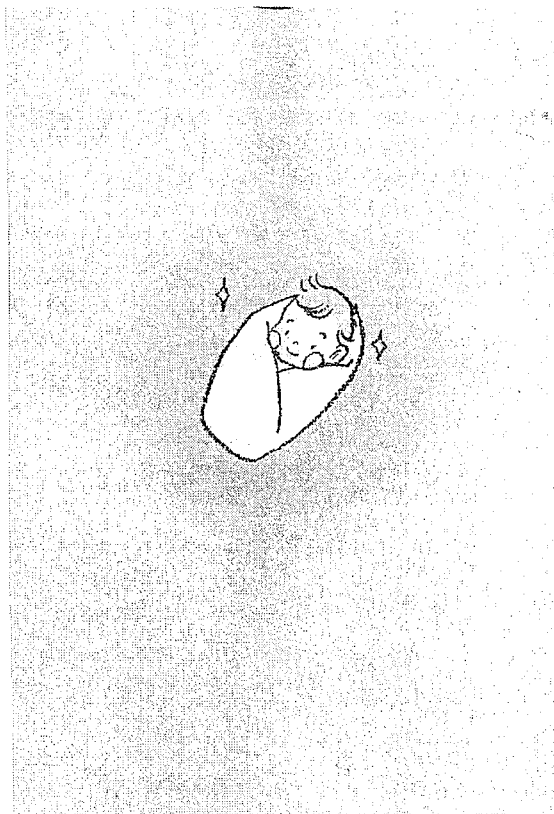
健診は近くの産婦人科で受けて、
分娩は専門的態勢の整った病院で行う
「周産期オープンシステム」。
アメリカやヨーロッパでは一般的な
健診、分娩のスタイルとして
定着しています。

周産期オープンシステムによる妊婦さんのメリット

- 通常、妊婦健診は、かかりつけの産婦人科医院やクリニックで、都合の良い日時に受けられる。
 - 自宅に近い施設で健診を受けられるので、通院時間や待ち時間が少なくてすむ。
 - 妊娠中に急な異常がおこった時には、いつでも分娩予定の専門病院で対応してもらえる。必要があれば入院もできる。
 - 分娩は設備やスタッフなど態勢の整った専門病院で管理してもらえる。
 - 母親学級なども分娩予定病院に通院している妊婦さんと同じように受けることができる。
- 分娩の時にあまり馴染みでない医師や看護スタッフに診てもらうことに不安や心配を感じる方もおられると思いますが、健診施設と分娩病院の連携が十分にできていれば医学的には大きな支障はありません。



「周産期オープンシステム」は厚生労働省の補助を受け、「周産期医療施設オープン病院化モデル事業」として平成19年度末までの期間実施します。



県立広島病院の
周産期 しゅうさんき
オープンシステム



県立広島病院

T734-8530 広島市南区宇品神田一丁目5番54号 TEL (092) 254-1818
 電話予約 (092) 256-4603 <http://www.hph.pref.hiroshima.jp>
「県立オープンシステム」は厚生労働省の補助を受け、「岡山地区産科医療オープン化推進モデル事業」として平成19年度までの期間実施します。

周産期オープンシステム

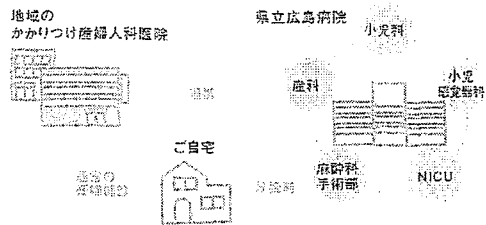
妊娠がわかったらお産をする病院を決めて、妊娠中からその先生に診てもらおう。というのが、これまでの一般的な分娩のスタイルでした。

しかし、最近は分娩を扱っていない産婦人科医院やクリニックが増えたため、お産をする病院で健診を受けるためには時間をかけて遠くまで通院しなければいけない、という問題がでてきました。そこで、妊娠の異常や合併症などのない妊婦（ローリスク妊婦）さんの場合には、健診は近くの産婦人科で受けて、分娩は専門の態勢の整った病院で行う、という新しいスタイルが取り入れられ始めました。

これを「周産期オープンシステム」と呼びますが、アメリカやヨーロッパでは以前から一般的な健診、分娩のスタイルとして定着しています。

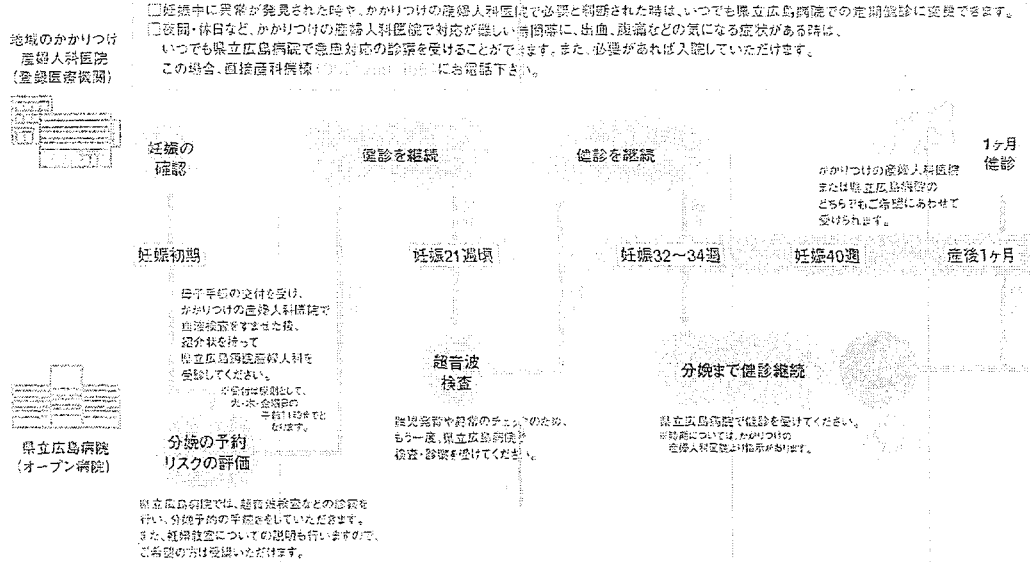
周産期オープンシステムによる
妊婦さんのメリット

- ① 通常の妊婦健診は、かかりつけの産婦人科医院やクリニックで、都合の良い日時に行われる。
 - ② 自宅に近い施設で健診を受けられるので、通院時間や待ち時間が少なくて済む。
 - ③ 妊娠中に急な異常がおこった時には、いつでも分娩予定の専門病院で対応してもらえる。必要があれば入院もできる。
 - ④ 分娩は設備やスタッフなど態勢の整った専門病院で管理してもらえる。
 - ⑤ 母親学級なども分娩予定病院に通院している妊婦さんと同じように受けることができる。
- 分娩の時にあまり顔なじみでない医師や看護スタッフに診てもらうことに不安や心配を感じる方もおられると思いますが、健診施設と分娩病院の連携が十分にできていれば医学的には大きな支障はありません。

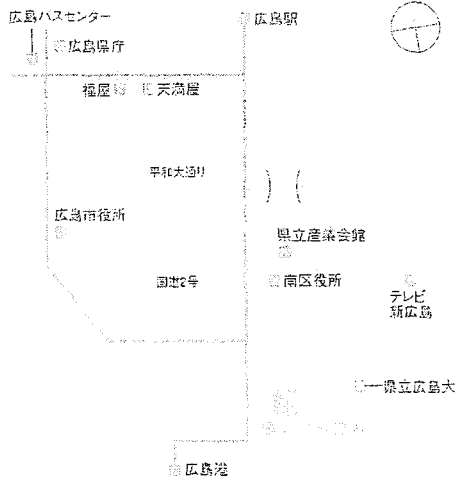


周産期オープンシステムの特徴

登録医療機関と県立広島病院の役割分担



県立広島病院へのアクセス



公共交通

- 広島駅①番(紙屋町経由) 広島港(宇品)行き
→「県病院前」下車
 - 広島駅⑤番(比治山下経由) 広島港(宇品)行き
→「県病院前」下車
 - 広島西広島駅③番 広島港(宇品)行き
→「県病院前」下車
 - 八丁堀-仁保戸坂線(12号) 仁保沖町行き
→「県病院前」下車
 - 広島駅-鞆町循環線(31号) 県病院方面行き
→「県病院前」下車
- 広島駅からバスセンターから
- 駐車場**
 第一駐車場 / 第二駐車場

()

9. 今回の分娩にあたり、医師からセミ・オープンシステムの説明を聞き (あるいはパンフレットをお読みになって)、このシステムをご理解いただけましたか。

- a. よく理解できた
- b. 大まかに理解できた
- c. あまり理解できない
- d. 全く理解できなかった

10. 今回、セミ・オープンシステムをご利用になった理由は。(複数回答可)

- a. クリニックで勧められたから
- b. 県病院で勧められたから
- c. 前回も同じような形で分娩したから
- d. ご本人またはご主人の希望で
- e. 自宅近くの開業医が分娩を取り扱っていなかったから
- f. 家族、友人の薦め
- g. 万が一の安心のため
- h. その他 ()

11. クリニックと県病院の諸対応はいかがでしたか。

- a. 特に変わらない
- b. 異なる
- c. 分からない

設問11で「b. 異なる」とお答えになった方にお聞きします。

どのような点が、異なると感じられましたか。(複数回答可)

- a. 助産師、看護師の対応・ケアの仕方
- b. 医師の対応 (診察内容, 超音波, 内診など)
- c. // (説明の仕方, 分かりやすさ)
- d. // (質問のしやすさ)
- e. // (妊娠中の諸指導-日常生活, 仕事, 旅行等)
- f. 診察時間
- g. 待ち時間
- h. 診察費用
- i. その他 ()

具体的にどのような点が違ったか、お書き下さい。

(.....)
 (.....)
 (.....)

12. 今回の妊娠中、夜間や休日に出血、腹痛などのトラブルのため県病院に救急で受診したことがありますか。

- a. なかった
- b. あった

設問12で「b. あった」とお答えになった方にお聞きします。

その時、最初に連絡したのはどちらですか？また、その理由をお書きください。

- a. クリニック
- b. 県病院
- c. その他の医療機関
- d. 救急車・その他 ()

理由 (例) 予め、時間外や異常時は県病院に連絡するよう説明されていたので。

.....

.....

.....

13. セミ・オープンシステムについてどのように思われますか。

- a. 従来の方式どおり妊婦健診も分娩も同じ施設で行うのがよい
- b. 利便性(クリニック)と安全性(病院)を併せ持つこのようなシステムの方がよい
- c. 産婦人科施設や医師の減少を考えると、このようなシステムはやむを得ない
- d. その他

コメント欄

.....

.....

.....

.....

.....

14. 次回の出産の際にも、今回のようなセミ・オープンシステムを利用したいと思いますか？

- a. 利用したい
- b. 利用したくない
- c. どちらともいえない

15. 今回、セミ・オープンシステムをご利用されて感じたこと、少子化、子育て、医療等に関するご意見、ご要望等がございましたら、ご記入ください。特に経産婦さんの場合、前回の分娩と比べてどう違ったかについてご意見をお聞かせ下さい。

クリニックに対して

.....

.....

.....

.....

.....

.....

病院に対して

Blank area for comments regarding the hospital, containing seven horizontal dashed lines for writing.

国・地方自治体に対して（要望など）

Blank area for comments regarding national or local governments, containing seven horizontal dashed lines for writing.

ご協力ありがとうございました。最後に、もしおさしつかえなければご氏名を記入いただければアンケート結果の分析上幸いです。

ご氏名 _____

